



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2018年1月号（553号）》

目 次

報 告

・常任司教委員会	1
・新福音化委員会	3
・典礼委員会	4
・諸宗教部門	5
・カリタスジャパン	6
・HIV/AIDS デスク	7
・中央協議会事務局（総務）	8

常任司教委員会

■11月定例常任司教委員会

日 時 2017年11月2日（木）10：00－15：00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 6人

報 告

1. 「貧しい人のための世界祈願日」に関する教皇庁新福音化評議会からの通知

2017年10月30日に教皇庁新福音化評議会から、年間第33主日の「貧しい人のための世界祈願日」（2017年11月19日）に関する通達が届き、この日のための教皇メッセージやロゴ、その活用方法を記した説明書、この日を実り豊かにするために役立つ指針や他の情報が新福音化評議会のウェブサイトから入手できるとの情報であった。

2. ユスト高山右近列福答礼公式巡礼とバチカン・日本国交樹立75周年記念ミサについて

2017年10月9日からローマ巡礼を基本に、3コースに分かれ、6日間コースを大塚喜直司教、勝谷太治

司教、9日間コースを前田万葉大司教、押川壽夫司教、11日間コースを高見三明大司教、郡山健次郎司教が同行し、右近ゆかりの地を訪れるユスト高山右近列福答礼公式巡礼を行った。この巡礼に合わせて行ったバチカン・日本国交樹立75周年記念ミサの様子とともに列聖推進委員会委員長の塚司教から報告が行われた。

3. 新福音化委員会主催「新福音化の集い」について
2017年10月20日(金)－22日(日)に開催された「新福音化の集い」の実施報告が新福音化委員会委員長の諏訪榮治郎司教から届き、その内容を紹介した。
4. 司教のための社会問題研修会について
12月15日(金)に開催を予定している「司教のための社会問題研修会」の概要が報告された。また、社会司教委員会の委員長である浜口末男司教から、同研修会に正義と平和協議会・改憲対策部会の7人が傍聴したいとの依頼があり、了承された。
5. FABC 神学関係局会議について
9月11日付でFABC 神学関係局の委員である福岡教区の櫻井尚明師から5月3日－8日に開催されたFABC 神学関係局の2017年度会議報告が届いた。
6. 中央協議会口座の東日本大震災復興義援金残高について
10月31日現在の中央協議会口座の東日本大震災関連・義援金残高報告が行われた。義援金総額は73,542,948円、支出合計は、64,858,896円、残高は8,684,052円となった。

審 議

1. 2017年度第2回臨時司教総会内容確認
2017年12月14日(木)に開催予定の第2回臨時司教総会の内容を確認した。なお、議案の確定は、12月常任司教委員会で行う。
2. 第15回シノドス準備文書質問事項に対する日本からの回答について
第15回シノドス準備文書質問事項に対する日本からの回答案を第15回シノドス代表参加者である勝谷太治司教の提案どおり、教皇庁シノドス事務局に送付することを承認した。
3. 第15回シノドス前会議への青年派遣依頼について
2018年3月19日－24日にローマで開催されるシノドス前の会合に日本の代表として派遣する青年については、青少年司牧部門の勝谷太治司教に候補者を提出してもらい、12月常任司教委員会で確定する。
4. 日韓司教交流会での平和共同声明案について
日韓司教交流会の最終日に、日韓合同で平和に関する共同声明を発表してはどうかという高見三明大司教からの提案を了承し、常任司教委員会の諸意見を加味して修正した案文を韓国司教協議会に送付し、韓国司教の意見を募る。
5. 教皇フランシスコ自発教令“Magnum Principium”の日本語訳について
教皇フランシスコ自発教令“Magnum Principium”とその解説の邦訳を担当している教会行政法制委員会から、自発教令の邦訳案が提出され、検討の結果、教会法の条項の変更部分を2月に開催される定例司教総会に諮ることを承認した。それまでに信者に理解しやすい解説文を典礼委員会の協力を得て作成する。
6. 世界家庭大会への日本からの参加について
2018年8月にダブリンで開催される世界家庭大会への派遣を検討する前に、日本カトリック司教協議会としての家庭や信徒に関する課題検討にどのように取り組むかについて、2月に開催される定例司教総会で意見交換を行う。
7. 「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのガイドライン」改訂作業について
「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのガイドライン」改訂にあたり、子どもと女性の権利擁護のためのデスクから提案された対応策依頼については、同デスクで教皇庁に提出するまでの書類を整えて対応することを確認した。

8. 性犯罪に関する刑法改正に伴う「聖職者による子どもへの性虐待に対応するためのガイドライン」改訂案について
子どもと女性の権利擁護のためのデスクから提出された「聖職者による子どもへの性虐待対応Ⅱ」の改訂案を承認し、同デスクが教皇庁に提出するまでの書類を整える。
9. フィリピン・マニラの Nazareth Formation House の視察について
子どもと女性の権利擁護のためのデスクから提案された、加害司祭への回復プログラムを行っている Nazareth Formation House の視察については、常任司教委員会の要請としての派遣ではなく、同デスクの活動としてデスクの予算で派遣することを確認した。
10. 日本カトリック障害者連絡協議会からの要望について
日本カトリック障害者連絡協議会からの「ユスト高山右近列福式」に参加した障がい者への対応および、今後の全国レベルの行事の障がい者への配慮についての要望を司教協議会として積極的に受け入れ、全国規模の会議において、障がい者への配慮を十分行えるよう、各教区事務局に通知するための文書を同連絡協議会に協力を得ながら作成する。
11. 中央協議会発行出版物の企画承認
 - ①出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。
書籍名 教皇フランシスコ講話集 4
内 容 教皇フランシスコの講話集のペトロ文庫による出版
 - ②出版審議会から提案された『教会暦と聖書朗読』のウェブサイト公開を承認した。

新福音化委員会

■2017年度「新福音化の集いー日常の中で福音を生きるー」

日 時 2017年10月20日（金）－22日（日）
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 7人
欠席者 1人
参加者 36人

報 告

「新福音化の集いー日常の中で福音を生きるー」

今年は第1回福音宣教推進全国会議（NICE-1）から30年という節目の年に当たり、現代社会を生きる信徒の現状や考えを聞き、今後新しい福音宣教を広めていくうえでの参考にするため、「新福音化の集い」を開催した。各教区から男女1人ずつ計29人の信徒らが参加した。

3日間のプログラムと分かち合いを通して、参加者は現代社会の中でキリスト者としてどのように生きるのか、教会には何が求められているのかという課題について改めて考えた。グループに分かれての分かち合いのほか、休憩時間や食事の時間に至るまで積極的に参加者同士が話し合った。集いの初日には担当司教の岡田武夫大司教が基調講演をし、第二バチカン公会議や日本司教団の「日本の教会の基本方針と優先課題」（1984年）、そしてNICEに至る経緯を説明した。

この集いで得られた信徒の現状や考えを参考に、今後信徒を励ますメッセージを作成する。

典礼委員会

■『ゆるしの秘跡』儀式書改訂会議

日 時 2017年10月2日(月) 10:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室6

出席者 3人

審 議

『ゆるしの秘跡』儀式書の改訂に向けた準備作業として、日本語版の第2章をラテン語規範版と比較検討した。

■定例会議

日 時 2017年11月6日(月) 10:00-15:30

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 9人

欠席者 2人

報 告

ミサで使用するパンとぶどう酒に関する教皇庁典礼秘跡省からの回状について

本年6月15日付で典礼秘跡省から送付された掲記書簡の翻訳は、9月の常任司教委員会での審議に基づき、カトリック中央協議会事務局から全司教のほか、ミサのためのパンを作っている修道会に送付された。

審 議

1. 教会法第838条の条文変更に伴う典礼書の翻訳作業の今後について

本年9月3日付で教皇フランシスコが発表した自発教令 *Magnum principium* によって、教会法第838条第2項と第3項の条文が一部変更された。その内容は典礼書の国語訳の準備・認可ならびに発行にかかわる事柄のため、今会合で確認を行った。掲記教令の翻訳と解説の発表に向けて、教会行政法制委員会と協力して準備する。

2. 新翻訳聖書の書名決定について

本年10月1日付で日本聖書協会が、掲記聖書の書名を『聖書 聖書協会共同訳』に決定したことを発表した。それを受けて意見交換を行い、カトリック教会における典礼使用の可能性についての検討準備を開始するとの合意を得た。

3. 「四旬節・聖なる過越の三日間・復活祭の典礼に関する補足事項」について

これまで定例会議で検討してきた掲記資料について、最終確認を行った。今会合での意見を踏まえて修正し、本年12月に開催される第2回臨時司教総会に提案する。

4. 堅信式における聖香油の塗油のことばの日本語訳について

『堅信式』儀式書の改訂に向けた準備として、聖香油を塗油するときのことばの日本語訳について検討した。

次回定例会議 2018年1月15日(月) 13:30-17:00 カトリック横浜司教館(神奈川・横浜市)

諸宗教部門

■シンポジウム「若者と宗教」

日 時 2017年9月16日(土) 14:00-17:00

場 所 カトリック奈良教会(京都教区)

参加者 約70人

2011年より「自死」をテーマに東京、福岡、大阪の3都市にてシンポジウムを開催し、2014年は「高齢化社会を豊かに生きること」について、2015年は「平和」について、昨年は「いつくしみとあわれみ」をテーマに開催し、諸宗教との親交を深めてきた。今年は「若者と宗教」と題し、昨今問題となっている“若者の宗教離れ”について諸宗教の人々と分かち合った。

パネリストは東井成則さん(天理教)、井川裕覚師(高野山真言宗)、秋田修孝師(曹洞宗)、白浜 満司教(広島教区)の4人で、第1部では各パネリストから約20分の発題を、第2部では会場からの質問を受け、質疑応答と対談を行った。

第1部で東井さんは、天理教の中でも若者の育成に携わっている経験として、「学生生徒修養会」と呼ばれる7日間の合宿を例に挙げた。天理教教義を学び実践することで信仰の喜びを味わい、信者であることの使命感を高めることを目的としているこの合宿では、若者たちが自分の内面を見つめ弱さと闘い成長していき、その過程に同伴した自らの体験を語った。

井川師は、「本当に若者が宗教離れしているのか」という視点から、若者のお寺離れを防ごうとする寺院の様々な取り組みを紹介しながら、感受性の豊かな若者こそ、多様でとらえどころのない宗教を柔軟に受け取ることができることを語った。中でも「修行体験」、とりわけ「お遍路」に参加する若者の話を例に挙げ、日常から離れあるがままに自身を見つめようと「修行体験」に参加する者が増えていると述べた。

秋田師は、曹洞宗の大本山永平寺にて22-23歳の若い修行僧を指導する立場でありながら、その修行僧たちを「若き仏」と呼び、修行生活を通して、彼らが戸惑い悩み迷いながらも懸命に修行に励んでいる姿を語った。また、永平寺の参拝者との話を例に挙げ、僧侶として、永平寺の修行僧として大切なのは、話すことだけではなく、私たち自身がどのように生きているのか、その姿が参拝者にとって励ましになっていると語った。

最後に白浜司教は、神学院の養成者としての経験と教皇フランシスコの教えを踏まえながら語った。長年神学院で生活していたため、いわゆる一般的な教会の中で問題とされている「若者不足」について十分に理解していないだろうと話しながらも、「無宗教」とうたう若者たちの中にも、心のどこかで孤独やむなしさを感じ「救い」を求めている人々が多いと述べた。

これを受けて行われた第2部では、会場からの多くの問いかけに対し、パネリストそれぞれの立場や経験を踏まえながら回答した。

■2017年度第4回会議

日 時 2017年11月1日(水) 18:00-19:30

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 10人

欠席者 4人

審 議

1. シンポジウム「若者と宗教」の記録冊子発行について

9月16日に開催されたシンポジウム「若者と宗教」の記録を発行するにあたり、具体的な検討を行った。昨年の発行部数にかんがみ、5千部の発行を予定している。

2. 2018年度活動計画について

2018年度も年4回の定例会議に加え、例年同様当部門主催によるシンポジウムを開催する。シンポジウムの詳細については、次回以降具体的に検討する。

次回日程 第5回会議 2017年2月22日(木) 18:00-20:00 日本カトリック会館

カリタスジャパン

■第6回援助審査会会議

日時 2017年11月7日(火) 13:00-15:40

場所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 5人

審議

1. 一般援助審査 計11件(国内3、海外8)を審査、7件を次回援助部会へ付託、2件(海外)を保留、2件(海外)を却下とした。
2. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA) 以下2件の支援を決定した。
 - (1) エチオピア「干ばつ緊急支援(EA36/17)」10,000 USドル
 - (2) エリトリア「食糧安全保障、干ばつに対するレジリエンス構築支援1/3年目(EA37/17)」20,000 USドル

次回日程 2018年1月16日(火) 13:00-16:00 日本カトリック会館

■2017年度第3回なんみんフォーラム(FRJ)運営委員会会議

日時 2017年11月9日(木) 15:15-17:00

場所 イエズス会 岐部ホール(東京・千代田区)

出席者 難民移住移動者委員会より1人、カリタスジャパンより1人

報告

1. 第2四半期活動および会計報告
2. 新規加盟団体の紹介
3. 新規ネットワーク団体への加盟について

審議

1. 人権差別撤廃委員会の日本政府報告に関する質問作成について
2. 第2回難民支援者セミナーについて

HIV/AIDS デスク

■第6回 HIV/AIDS デスク会議

日 時 2017年11月1日（水）13：00－15：00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 8人

報 告

1. カトリック医療関連学生セミナー
上智大学目白聖母キャンパス（東京・新宿区）で、9月23日（土）－24日（日）に開催された。全国から約90人の参加者があり、デスクの改訂版小冊子を配布した。
2. AIDS文化フォーラムin名古屋
9月24日（日）、南山学園講堂（愛知・名古屋市）で第1回のフォーラムが開かれた。展示会場でデスクの啓発活動を紹介した。
3. AIDS文化フォーラムin京都
第7回の開催で、同志社大学新町キャンパス（京都市）に9月30日（土）－10月1日（日）の2日間、約1,000人の来場者が集まった。展示会場で関西圏在住のデスクのサポーターが参加した。
4. 改訂版小冊子の発送、反響
7つの教区から合計2,000部の注文があった。小教区や学校からの注文もあり、在庫は900部余りとなった。
5. デスクのホームページ更新
イベント情報は更新したが、「み言葉フォト」の応募作品と聖句を選び更新する。
6. 文京区レッドリボン展
毎年、文京保健所が開催しているHIV/AIDS啓発イベントで、今年は11月29日（水）にシビックセンター（東京・文京区）で開かれる。デスクはビーズバッジ作成者の紹介など間接的に協力している。

審 議

1. 改訂版小冊子の増刷について
現在、在庫が1,000部を切ったので、早急に5,000部増刷する。
2. 大学での講義について
HIV/AIDSについて、白百合女子大学で11月22日（水）、立教大学で1月10日（水）、桜美林大学で1月16日（火）に河野デスク委員と事務局が話す。
3. 今後のイベントについて
11月23日（木・祝） 日本カトリック神学院ザビエル祭（東京・練馬区）に出展する。
11月25日（土）－26日（日） TOKYO AIDS WEEKS 2017（東京・中野区）にデスクの資料を置く。
11月24日（金）－26日（日） 中野で開かれる第31回日本エイズ学会に出展する。
4. デスクの看板について
各地の啓発イベントで活用できるような、横断幕・のぼりの見積もりを取って作る。
5. 来年度の活動計画
2018年11月23日（金）－24日（土）の正義と平和全国集会、名古屋大会で分科会をする。出前研修会のメニューは今年度同様にする。
6. 世界エイズ・デー記念礼拝について
第32回の記念礼拝は12月3日（日）の開催に向けて準備が進められている。礼拝後の交わりの持ち方について検討し、初めて参加した人への配慮が必要だという結論になった。

次回日程 2018年1月12日(金) 15:00-17:00 日本カトリック会館

中央協議会事務局

■総務

1月会議予定

11日(木)	常任司教委員会	日本カトリック会館
12日(金)	HIV/AIDS デスク会議	〃
15日(月)	典礼委員会定例会議	カトリック横浜司教館
16日(火)	カリタスジャパン援助審査会	日本カトリック会館
17日(水)	正義と平和協議会定例委員会	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2018年1月号 (通巻553号)

発行日 2017年12月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457